

会 議 録 (概要)

会議の名称	第8回 佐渡文化財団設立準備会
開催日時	平成30年2月23日(金) 13:30~14:30
場 所	佐渡市消防本部 1階 コミュニティールーム
議 題	(1) 佐渡文化財団の予算(案)について (2) 佐渡文化財団の組織(案)について (3) 第7回設立準備会の会議録の確認 (4) 第9回準備会の日程とテーマについて
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者 6名 事務局(理事者) 市長:三浦 基裕 副市長:藤木 則夫 教育長:渡邊 尚人 (企画課) 主任:源氏 諭史 (社会教委課) 課長:越前 範行 (社会教育課佐渡学センター) 次長:岡部 欽也 主任:鶴間 基宏 主任:石渕 裕作
会議資料	1. 佐渡文化財団の予算(案) 2. 佐渡文化財団組織体系図(案) 3. 設立スケジュール(第5回準備会資料) 4. 3月10日発刊の市報さど掲載原稿 5. 第7回設立準備会会議録
傍聴人の数	1人
会議録作成者	社会教育課佐渡学センター文化振興係 主任 石渕裕作

会議の概要（発言の要旨）	
議題・発言・結果等	
決定事項	<p>○次回の準備会の前に、会員から設立時役員の提案をいただいて、それを基に市で役員案を作成し、次回の準備会で協議する。</p> <p>○第9回の設立準備会は3月6日（火）午前10時から開催し、規約及び役員人事に関して協議する。</p>
会議概要	<p>○佐渡文化財団の予算（案）についての説明を行った。</p> <p>○佐渡文化財団の組織（案）についての説明を行った。</p> <p>○第7回設立準備会の会議録の確認の依頼を行った。</p> <p>○第9回準備会の日程とテーマについて確認した。</p>
発言要旨	<p>岡部次長</p> <p>（1）佐渡文化財団の予算（案）について財団の予算案について説明いたします。</p> <p>歳入から説明いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワークショップ参加料、情報発信事業で立ち上げる団体の出演料、グッズ販売などの事業収入として、百五十万円。</li> <li>2. 財団設立準備経費分として、佐渡市負担金、千六百三十六万五千元。</li> <li>3. 事業への佐渡市補助金として、二千六百七十四万六千円。</li> <li>4. 賛助会員等からの寄付金として、三百八十九万円。</li> </ol> <p>合計、四千五百万円です。</p> <p>なお、現在、国の交付金を申請中です。採択された場合は、事業費の約二分の一が佐渡市に入り、前述の佐渡市から財団へ支出される負担金及び補助金の財源となります。</p> <p>次に歳出について説明いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人件費、旅費、事務所設置・運営など、設立準備費用として、千八百二十五万四千元。</li> <li>2. 学校への講師派遣、ワークショップ開催など、継承事業費として、四百八十三万九千元。</li> <li>3. 文化資源の利活用、情報発信事業のなかで立ち上げを考えている団体の育成など、活用事業費として、千三百六十三万六千元。</li> <li>4. 広告塔となる団体による佐渡文化の発信、文化財団のホームページ作成など、情報発信事業として、八百二十七万千円。</li> </ol> <p>合計、四千五百万円です。</p> <p>説明は以上となります。</p>

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言要旨	A氏	事務局から説明がありましたが、何かこの件に関しまして、ご意見ございますか。
	岡部次長	ひとつ補足させてください。 提示した予算案は、佐渡文化財団の予算案になるため、設立の際に拠出が必要となる三百万円は含まれていません。
	A氏	今の内容も含めて、ご意見ございますか。
	三浦市長	今、提示された予算案には記載がありませんが、ガバメントクラウドファンディング（G C F）で集めた寄付金も財団に入ります。
	岡部次長	今の市長の意見を踏まえ、もうひとつ補足させてください。佐渡市が主体となり、4月から6月までG C Fを実施する予定です。 集まった寄付金は、先に説明させていただいた国の交付金同様に佐渡市の歳入に入り、佐渡市から財団へ支出される補助金の財源となります。 また、G C Fとは別に4月からふるさと納税を活用して寄付を募ります。ふるさと納税で今年入った寄付金につきましては、いったん佐渡市の基金に積み立て、再来年度の財団への補助金の財源に充てられます。
	A氏	この予算案に記載されている事業以外の事業などについては、文化財団の理事会で決めて実施するというところでよろしいでしょうか。
	三浦市長	ここに記載されている金額は、修正、組み換えは可能です。
	B氏	指定管理の業務は行うのですか。
	岡部次長	平成30年度は考えていません。 案としてですが、平成31年度以降、公募、審査を経て、指定管理を受けられれば、行いたいとは考えています。
	A氏	他に何か意見はございますか。（特になし。）

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨	岡部次長	<p>（２）佐渡文化財団の組織（案）について組織案について説明させていただきます。</p> <p>先般の準備会で決定した定款に基づき、評議員会を構成する評議員は10名以内。理事会を構成する理事は7名以内。監事は2名以内で考えています。</p> <p>組織体系としては、理事会の下に理事長、その下に常勤となる専務理事を置きます。なお、専務理事は、事務局長を兼務します。</p> <p>職員は、財団の正職員3名。市からの派遣職員2名。事務局長を含め、計6名体制での運営を考えています。</p> <p>係としては、総務・経理等を行う総務係。各事業を実施する事業系の2つの係を考えています。総務係は市からの派遣職員で担当し、事業係は事業ごと（文化継承事業・文化活用事業・情報発信事業）に1人の専門職員を配置したいと考えています。</p> <p>財団の正職員3名につきましては、4月に公募を行い、募りたいと考えています。</p> <p>理事・監事・評議員につきましては、次回以降の準備会で皆さんから推薦をいただいて、市で決定し、新年度に入ってから、依頼したいと考えています。</p>
	A氏	<p>事務局から説明がありましたが、何かこの件に関しまして、ご意見ございますか。</p>
	岡部次長	<p>ひとつ補足させてください。</p> <p>現時点で事務所は、社会教育課の入っている畑野行政サービスセンター内を予定しています。</p>
	A氏	<p>理事・監事・評議員及び職員の決定はいつまでに行う予定ですか。</p> <p>（第5回設立準備会の資料「財団設立スケジュール」を配布。）</p>
	岡部次長	<p>予定としては、3月中に役員を選定し、4月に依頼を行います。</p> <p>職員については、4月に公募し、5月に採用面接等を行います。</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨	C氏	財団発足段階は多忙を極めることが予想されるが、財団正職員3名という人数はマンパワー的に妥当なのか。この人数の根拠は何ですか。
	岡部次長	<p>予定している事業系の事業（文化継承事業・文化活用事業・情報発信事業）ごとに正職員1人という想定で3名という人数になっています。</p> <p>この人数で大丈夫かと問われると、事業のボリュームも漠然としているため、始まってみないと何とも言えません。</p>
	三浦市長	<p>発足当初は、事業を行う中でマンパワーが足りないとなれば、市からの派遣や臨時職員の雇用を考えるつもりです。最初の職員募集時に人数を多く公募することはせず、どういう役割の人がどれだけ必要かということが見えた段階で、順次、年度単位で財団職員を増やしていければと思います。</p> <p>なお、市の派遣職員は数年で撤退し、最終的には0になります。</p>
	C氏	文化財団の仕事は多岐にわたることから、有能な人材の確保が必要です。年度が変わるごとに予算を見直し、より優秀な人材を確保できるよう、予算付けが必要になるかと思っています。
	A氏	市の予算組の中でこの程度の職員数でというお話なのですが、当初のプロジェクトがどういったものになるのか、また、将来、どういった展開をしていくのかが見えていないので、議論しづらいところではあります。
	岡部次長	<p>当初のプロジェクトにつきましては、4月以降、選定された理事のほうで財団設立までにあらあらの事業計画を作っていただけだと思います。</p> <p>事業計画の策定に影響してくるのですが、現在、国の交付金を申請しており、その内示がでるのが3月下旬ごろになります。もし、不採択となった場合、財政課からは、佐渡市が支出する予算の範囲内で事業を考えてほしいと言われています。場合によっては、今、事務局で考えている事業</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨		も縮小しないといけなくなるかもしれません。
	三浦市長	それは今考えなくてもいいです。 必要であるから財団を立ち上げるのであって、財政課が何を言おうと、必要であれば、この計画を守って実行するしかないと思います。 事務局は、交付金が採択されるよう、全力を尽くしてください。
	A氏	他に何かご意見はございますか。 (特に意見なし。)
	岡部次長	3. その他 設立時理事、評議員の決め方はどうしたらよろしいでしょうか。 選考委員会を設けて決めるのか、もしくは、皆さんからどなたかを推薦していただいて、それを基に市で選定したほうがよいか。
	A氏	事務局としては、どう考えていますか。
	岡部次長	次回の準備会の前に、皆さんから提案をいただいて、それを基に市で協議をして、案を作成し、次回の準備会に提案できればと考えています。
	渡邊教育長	事務局から所定の回答様式を送りますので、理事と評議員について、個人名でも結構ですし、こういった団体からといった提案でも結構ですので、思っている案を出していただければと思います。 いただいた提案に市長の意見を入れ、事務局案を作成し、次回以降の準備会に諮りたいと思います。 いかがでしょうか。 (「はい。」の声あり。)
	C氏	回答様式を送る際に、理事会と評議員会の権能についての記載をお願いします。

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨	岡部次長	わかりました。 別件になりますが、お配りした財団についての記事が3月10日発刊の市報さどに掲載されますので、お知らせします。
	石渕	最後に、お配りしました第7回設立準備会の会議録をご確認いただき、修正等ありましたら、次回の準備会までに事務局にご連絡ください。